

xx oo xx

主の祈り (93-5A)

天にまします われらの父よ
ねがわくは、み名をあがめさせたまえ
み国をきたらせたまえ
みこころの天になるごとく、地にもなされたまえ
われらの日用の糧（かて）を、今日もあたえたまえ
われらに罪をおかすものを、われらがゆるすごとく
われらの罪をもゆるしたまえ
われらをこころみにあわせず、悪よりすくいいだしたまえ
国と ちからと さかえとは、かぎりなく、
なんじのものなればなり

アーメン

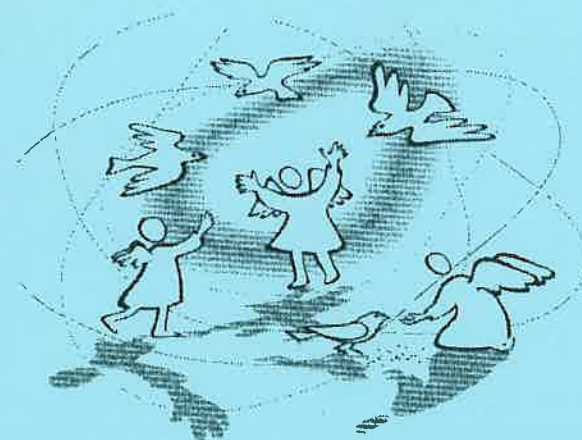
xx oo xx

石巻栄光教会宣教基本方針

石巻栄光教会は、主なる神と出会うイエス・キリストの体です。神様が愛している一人一人のかけがえのなさを思い出し、この世界を神様が大切にしていることを思い出す場所です。石巻栄光教会は、希望を生み出します。

私たちは、この社会の現実の中で生きています。教会の中だけでの満足にとどまらず、社会に生きる人々の痛みや苦しみ、あるいは楽しみを共にしていくこと、そして、悩みや不安を分け合って喜びに変えていく教会になることを願います。

また、一人一人の生き方を尊重するとともに、神様から一人一人に与えられている賜物を活かして、神さまと人を愛し、感謝しながら地域に仕えていく教会を目指します。



日本キリスト教団 石巻栄光教会

〒986-0854 石巻市大街道北2丁目12-3

電話/FAX: 0225-22-4090

ホームページ: <http://tohoku.uccj.jp/i-eikou>

メール: i-eikou@tohoku.uccj.jp

振替口座: 02280-8-2810

教会創立: 1887年9月25日

集会案内

聖日礼拝	毎週日曜日	午前10:30
早朝礼拝	毎週日曜日	午前7:30
交わりの会	毎週日曜日	礼拝後
み言葉と祈りの会	毎週水曜日	午後7:30

2024年度標語 『これは、人の意志や努力ではなく、
神の憐れみによるものです』

- ◎ 聖日礼拝を共に守りましょう。
- ◎ 日ごと聖書に聞き、祈りましょう。
- ◎ 家族・地域に福音を届けましょう。
- ◎ 平和を創り出すために働きましょう。

No.2449	アドベント第一 主日礼拝式順序	2024年12月1日 午前10時30分
	受付 司会 献金 奏楽	礼拝当番は 礼拝堂に集まった人の中で 可能な方に担当いただきます。
前奏 招きの言葉 讃美歌	[11] 詩編第24編9～10節 29	司会者 一同
子どもたちへのおはなし		
祈り 聖書	ゼカリア書9章9節 (旧約聖書1489ページ)	司会者
讃美歌 お話し	240 (1～3節) 「見よ、あなたの王が」	一同
讃美歌 献金 報告 讃美歌	240 (4～5節) 90 (4節)	一同 一同 司会者 一同
祝福の祈り 後奏		
*当教会では 着席のまま礼拝を守っています。 *旧約聖書は前半(P.1502まで)、新約聖書はその後ろです。 *献金の額はいくらでも結構です。持ち合わせがないときは次の機会に。		
●1月1日(水)午後、日本基督教団仙台青葉荘教会にて、 仙台キリスト教連合主催による新年礼拝が行われます。 川上牧師が司式を担当します。ご一緒いただける方は、 どうぞ、お知らせください。		

〇〇〇〇〇〇〇 今週の集会 〇〇〇〇〇〇〇〇〇

☆「雅歌」読書会 12月2日(火)19:30～ オンラインにて

☆「みことばと祈りの時」 12月3日(水)19:30～ オンライン併用

〇〇〇〇 次週の予告(12/8) 〇〇〇〇〇

☆ アドベント第二主日礼拝 (お話：川上直哉 牧師)

[聖 書]	ルカ伝21章28節
[お 話]	「あなたの救いが近づいている」
[讃美歌]	32 241 91 [招きの言葉] 12
受 付	礼拝当番は礼拝堂に集まった人の中で 可能な方に担当いただきます。
奏 楽	

〇〇〇〇〇〇〇〇〇 お知らせ 〇〇〇〇〇〇〇〇〇

❖今後の予定は以下の通りです

- ・12月8日(日)オリーブ会・教会学校遠足(礼拝後)
- ・12月14日(土)栄光まきびと園クリスマス
- ・12月20日(金)石巻広域ワイス・メンズ・クラブ クリスマス例会(石巻山城町教会にて)
- ・12月22日(日)石巻栄光教会クリスマス礼拝(10時半～)
- ・12月24日(火)石巻栄光教会クリスマスイブ礼拝(19時半～)
- ・12月29日(日)中澤先生が10時半からの礼拝を担当
- ・1月19日(日)宮城中地区との講壇交換

《 先週の集会統計 》			
聖日礼拝	9人	み言葉と祈りの会	5人
早朝礼拝	-	聖餐式	4人
月 定 献 金		特 別 献 金	
		宮本晏祐 (クリスマス)	
席上献金	¥8,450		

週報別冊

2024 年 12 月 1 日号

1. 教会宛に、以下の通信が届いています。

【石巻栄光教会関係】

- 「我らの歩み」(大阪聖書学院) : 米国クリスチャン教会の草創期についての詳しい研究成果を、「石巻栄光教会ものがたり」への返礼として、お贈りいただきました。

【日本基督教団・東北教区関係】

- 「教団新報」(日本基督教団) : 10 月 29・30 日に行われた総会の様子が報告されています。
- 「第二回 五橋クリスマス」(東北学院大学) : 12 月 6 日(金) 18 時 20 分～20 時 20 分に礼拝とクリスマスコンサートと点灯式を開催することのチラシを頂きました。
- 「クリスマスを祝う音楽会」(宮城学院) : 12 月 7 日(土) 13 時～17 時に礼拝堂・小ホール等で礼拝とコンサートとマルシェなどを行う事の連絡を頂きました。
- 「教会・幼稚園建物建設献金のお願い」(日本基督教団目白教会) : 米国福音教会によって 1913 年に東京・目白に設立され、1916 年に目白平和幼稚園を設立した教会から、4 億 2 千 3 百万円の資金計画で教会と幼稚園の改築・建築計画で、目標 1000 万円の募金を始めることの連絡を頂きました。
- 「クリスマスカード」(関西学院大学) : 日本基督教団のメソジスト系神学校である関西学院神学部からのクリスマスカードを頂きました。

- 「ぱいかじ」(八重山・宮古宣教センター) : 「慰安婦は作り話？日本人の我々が記憶」(志真志伝道所 望月智牧師) 等が掲載されています。
- 「能登半島地震被災地のために祈りください」「能登半島ボランティア報告とお願い」(日本基督教団総会議長 雲然俊美牧師) : 11 月 13 日現在、85,774,859 円が救援募金として集まったことの報告と、「できれば、行って、見て、力になってください」と「お祈りと支援のお願い」が記されています。
- 「開拓伝道援助資金献金のお願い」(日本基督教団伝道委員会) : 2024 年度は新潟愛泉伝道所のために 200 万円の援助をした委員会からの募金要請です。
- 「点字『こころの友』への献金をお願いします」(日本基督教団伝道委員会) : 現在 70 名の読者がある「点字『こころの友』」について、「一部 50 円で購読していただいておりますが、実費は一部 580 円かかります」ということで、その差額分を補う献金の要請を頂きました。
- 「『牧会者とその家族の精神的なケアを考える全国交流会』を覚えてお献げください！」(日本基督教団「牧会者とその家族のための相談室委員会」) : 2018 年に電話相談を開始し、2014 年 11 月 18・19 日に全国交流会を行った委員会から、第二回の全国交流会を 2028 年に実施するための献金要請を頂きました。
- 「良き日のために」(日本基督教団部落解放センター) : 賀川豊彦の優性思想・被差別部落に対する認識の問題を孫の督明さんが痛切に批判する現場を報告した「第 34 回全国キリスト教学校人権教育セミナー『・・・にもかかわらず』喜び、笑い、あゆむ——いのち・平和・人権——に参加して」(奥羽教区・上原恵さん) 等が掲載されています。

- 「『障がい』を考える全国交流会のためにお献げ下さい！」（日本基督教団「障がい」を考える小委員会）：2026年に1泊2日のプログラムを予定している交流会のための献金要請を頂きました。
- 「亀の里ニュース」（亀の里委員会）：重度身体障害者施設「亀の里」から6kmの場所にある周防教会に着任した「24歳の春」に、一大決心をして教会に願い出て「亀の里に一月寝泊まりすること」とし、「健常者が障害者を助ける」という価値感を「ぶっこわして」もらった1982年の経験を記す「手ぶらでどうぞ」（村田敏 周防教会牧師）等が掲載されています。

【その他教会・団体関係】

- 「富坂だより」（公益財団法人基督教イースト・エイジアン・ミッション富坂キリスト教センター）：「『東アジアにおけるポストコロナリズム』研究会設立について」（金性済牧師）等が掲載されています。
- 「女性人権だより」（日本キリスト教婦人矯風会）：袴田事件の「証拠捏造」を受けて「再審法」の成立を求める「平和部門」（川野安子さん）等が掲載されています。
- 「Network News」（女性の家 HELP）：「2024年4月より困難女性支援新法が施行されました。女性支援の根拠法に長い間されてきた売春防止法が改正され、新たに広く困難女性を対象として生み出されました。」と記す「困難女性支援法施行後のシェルターの様子」等が掲載されています。
- 「後援会だより」（秋田婦人ホーム講演会）：日本キリスト教矯風会秋田グループのみなさんが日本基督教団檜山教会と共に支えている「秋田婦人ホーム・城南園・ひばりクラブ」の通信です。
- 「難民・移民 なかまのいのち協働基金」（外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡会）：「難民申請者・仮放免者・未登

録外国人の子どもたちを対象にし、育児支援金・就学支援金として子どもの親・保護者に『子ども一人につき3万円』を支援」するための基金への支援要請を頂きました。

- 「アイヤーム・アハリー」（アハリー・アラブ病院を支援する会）：2024年11月13日にガザから受信した「スハイラ院長からのメール」等が掲載されています。
- 「会報」（望みの門京葉後援会）：「婦人保護事業から女性支援新法へ」のテーマで行われた講演の報告「講演そして音楽を〜2024年望みの門京葉後援会総会にて〜」（千葉教会 坂本説子さん）等が掲載されています。

2. 牧師動静

11月25日（月）

日中、米山で中澤先生が主宰する「実践宣証会議」に出席しました。

11月26日（火）

午前中、「初心に帰ってルカ福音書を読む」を主宰し、午後、エマオで執務し、夜、仙台で反貧困みやぎネットワーク総会に出席しました。

11月27日（水）

終日、教会で執務し、夜、祈禱会を主宰しました。

11月28日（木）

午前中、一件の訪問をして「荊冠の神学」読書会と聖餐式をし、午後、福島県キリスト教連絡会の放射能問題学習会にオンラインで出席しました。

11月29日（金）

午前中、教会で執務し、午後、食品放射能計測事業協同運営委員会にオンラインで出席し、その後、仙台で執務しました。

11月30日（土）

終日、仙台白百合女子大学カトリック研究所「巡礼遠足」のガイドをしました。

- 本日の午後2時半から、柴宿教会の礼拝を川上牧師が担当します。
ご一緒いただける方は、どうぞ、お知らせください。
- 12月8日に執行予定でした聖餐式は、オリーブ会と教会学校遠足が入りましたので、本日举行します。参加希望の方は、礼拝後、お残り下さい。

12月2日(月)

日中、教会で執務し、夜、オンラインで「雅歌」読書会を主催します。

12月3日(火)

午前中、蛇田復興公営住宅での YMCA 支援事業「ストレッチヨガ」のお手伝いをし、午後、中澤先生の仙台宣教センターで東北ヘルプの執務をします。

12月4日(水)

午前中、宮城刑務所で教誨活動をし、午後、午後、中澤先生の仙台宣教センターで東北ヘルプの執務をし、夜、祈禱会を主宰します。

12月5日(木)

朝から東京へ行き世界宗教者平和会議の会議に出席します。

12月6日(金)

日中、東京と横浜で聖餐式等をし、夜、仙台 YMCA 市民クリスマスに出席します。

12月7日(土)

終日、福島主のあしあとキリスト教会の献堂式に出席しています。

※牧師と面会をご希望される方は、どうぞ、ご遠慮なく教会のメール宛、ご連絡ください。上記日程を調整して、ぜひお目にかかりたく存じます。

ルカ福音書 訳述「受胎告知」

「恐れるな。マリヤム。

あなたは神の 恵みを受けた。

神の御許(みもと)に あった み恵みを。

見よ、あなたは身ごもる。

そして息子を生み落とす。

その息子には イエスと名前を付けなさい。

その息子こそ 偉大な人に 育ち行く。

至高の方の 息子と呼ばれる。

聖書の神『主』は この息子のために

『ダビデの玉座』を用意する。

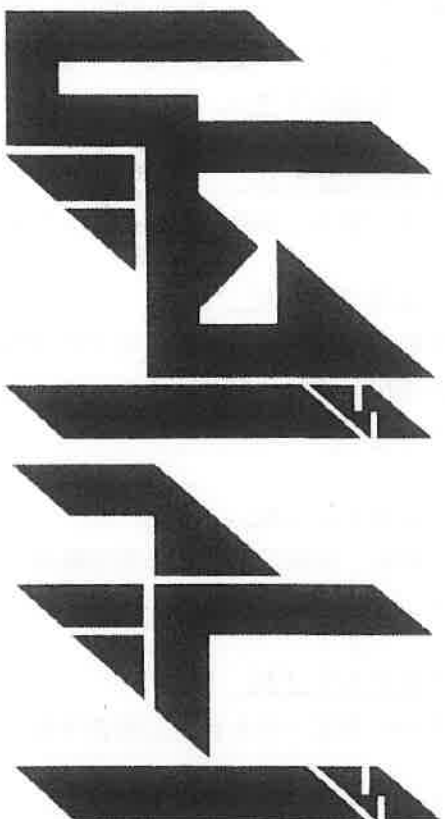
その父祖の 玉座を彼は 手に入れる。

父祖の土地・ヤコブの土地を

代々に続らす(しらす)は 彼である。

その統治はとこしえに 決して終わることはない!」





アイヤム・アハリー
Ayyam Ahli / Days of "Ahli"
2024年11月25日 No. 46

アハリー・アラブ病院
を支援しよう！
即時停戦！ガザ解放！
パレスチナと共に！

アハリー・アラブ病院を支援する会 共同代表 村山盛忠・藤田 進

169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18 キリスト教事業所連帯合同労働組合気付 MAIL: ayyam_ahli@yahoo.co.jp

アハリー・アラブ病院を支援する会ニュース・レター

パレスチナの人びとを決して忘れない

2023年10月に戦闘が始まってから1年以上が経過し、ガザの状況は地獄絵図が拡大しています。特にこの1ヶ月はアハリー・アラブ病院のある北部が集中的に攻撃され、先日も病院のすぐ近くで爆撃があり、大勢の負傷者が運ばれている様子がSNSに上げられていました。爆撃され破壊された建物を掘り返すことも出来なくなっており、埋葬する場所すらないため、飛び散った遺体の破片を拾い集めて袋に入れて持ち歩かない状況です。また、イスラエル軍は支援物資をわざと爆撃しています。ガザの飢餓が進行しています。アハリー・アラブ病院は再び攻撃されるかもしれない危険と隣り合わせの中、ガザの人びとのために活動しています。皆さま、引き続き、ご支援をお願い申し上げます。

スハイラ院長からのメール 2024年11月13日受信

皆さんの共感と温かいお気持ちに感謝いたします。

ガザの状況はまさにあまりにも深刻です。爆撃はやむことなく、何の罪もない人々が瓦礫に埋まって死んでいき、多くが家を失い、負傷に耐えています。ガザがどうなるか誰もわかりません。イスラエル軍の計画は不吉の極みです。北部ジヤバリーヤー、ベイト・ハヌーン、ベイト・ラーヒヤーの避難所や住宅を恐ろしいまでに爆撃し、パレスチナ人を一人残らず追放すると言っています。安全などところありません。ガザではジェノサイド戦争が吹き荒れています。いわゆる「自由世界」は、21世紀最大のジェノサイド殺戮を静かに見守っています。

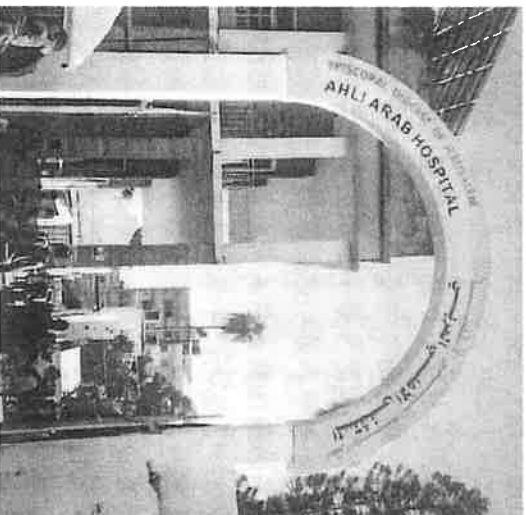
絶望的な状況ですが、違う明日があると私は確信しています。

いつかガザに自山の太陽が昇り、涙の川は止まるでしょう。私たちの悲しみは喜びに変わり、苦しみは幸せに変わるでしょう。この戦争は終わり、平和と正義がガザと中東全域に満ちるでしょう。

あなたがたの連帯をいまいちと感謝し、ガザに癒しを捧げるアハリー・アラブ病院の使命をこれまででもこれからも助けてくださることを感謝します。

心を込めて

スハイラ・タラズイ アハリー・アラブ病院院長



↑再建された病院のエントランス